

鋸南町地域公共交通活性化協議会総会 議事要旨

- 1 開催日時 令和8年5月25日（月）
午後10時00分から午前11時15分まで
- 2 開催場所 鋸南町役場 3階 大会議室
- 3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり

4 会議の概要

(1) 開会

事務局から開会が宣言された。

事務局より報告案件として鋸南町区長会長 石井孝明委員の後任の委員として榎本幸廣委員の紹介があり、榎本幸廣委員があいさつを述べた。

本日欠席の委員で千葉県総合企画部交通計画課地域公共交通担当課長 伊藤昌央委員の後任の委員として、若林 大祐委員、千葉県館山警察署交通課長 坂井 陽一委員の後任の委員として、武井 大委員の紹介があった。

(2) あいさつ

鋸南町地域公共交通活性化協議会会長 内田 正司氏があいさつを述べた。

(3) 議題

①令和7年度事業報告・令和7年度決算報告について

事務局から議題（1）令和7年度事業報告・（2）令和7年度決算承認についての説明、監事である鈴木昭一委員から令和8年4月24日に行った監査報告があった。

議長から質疑及び意見を求めたところ、次の発言があった。

○成田 斉委員 一般社団法人千葉県バス協会専務理事

3点質問で、議題（1）の令和7年度事業報告について、1点目プレゼンテーション審査が令和7年5月20日に行われたが、応募された事業者は何社ほどいたのか、ランドブレイン(株)が1社だけだったのか。2点目は令和7年8月から町民、また高校生、関係者、近隣自治体、小中学校等々のアンケートを行われておりますが、各種アンケートの結果については、令和7年11月15日に報告がありましたが、アンケートの回答状況は、このとき報告がありましたが再度どんな状況だったか。3点目は、令和7年度の決算承認について議題（2）の中にございますが、令和7年度の事業費として地域公共交通策定支援業務委託費が1,427万8,000円計上されています。この決算承認は全く異論ございませんし、適切に処理されていると思いますが、この中で、今日も会議の中で持参している鋸南町地域公共交通計画という冊子があります。大変立派な冊子ができて、よく読ませていただきますが、これは何冊ぐらい発行されて町民の方には配布したのか、発行の費用は支援業務委託費の中に含まれているのか、それとも町の予算の中で

発行して町民の方に行き渡るようにしたのか、今後の話なのか。その辺について補足してご説明をいただけるとありがたいと思います。

●事務局 平井

1点目の応募業者については、ランドブレイン㈱を含み全部で5社です。2点目のアンケートの状況については、鋸南町地域公共交通計画の7ページをご覧ください。まず町民アンケートですが、調査対象として2,000人に送らせていただきまして、回収状況として960票、回収率48.0%でした。次に高校生アンケートですが、高校生126人に対して57票の回答がございまして回収率45.2%でした。8ページをご覧ください。小・中学生保護者アンケートで、こちらが221人の保護者全員お子様が2人以上どちらも小・中学生の場合はこちらか1人に対する回答ということで実施しまして、総数として161人の回収率72.9%でした。その他の関係団体アンケートは1社ごとに行っておりますので、特に回収率等の数値は示してございません。3点目の鋸南町地域公共交通計画をどれぐらい作成したかと、その経費についてはですが、支援業務委託契約に含まれており、全部で100部作成をし、町ホームページで公開させていただいております。

○成田 斉委員 一般社団法人千葉県バス協会専務理事

プレゼンテーションの応募が5社あったということで特にございませんが、アンケートについてはこの鋸南町地域公共交通計画の冊子に詳細に報告があつて、私も県内の各種の公共交通会議に出席していますが、アンケートに対する回収率が、比較にならないほど多い。それだけ鋸南町の関わる皆様のご関心がこの交通に対して高いということが伺えますので今後も適切な時期に、こうしたアンケートを取って政策に生かすのは非常に重要なことだと思います。計画を100部印刷したということで報告書がありました。5年間で、計画を実行していく中で、いろいろな場面でこの計画を周知する際にはホームページで公開しているということですので、それを効果的に町民の方にもお知らせするという工夫が必要かと思いますが、ぜひご検討いただければと思います。

○中村 基委員 鋸南町議会議員

議題(2)決算ので、運営費の当初予算の326万9,000円で、これはどういうことをやろうとしたのか、なおかつ実行されなかったというのはどういうことか。

●事務局 平井

国庫補助金の入金があつた際に、それを町の会計に返す返還金として用意していたものです。

議長から議題(1)令和7年度事業報告、議題(2)令和7年度決算承認について承認することとしてよろしいか委員に諮られ、委員全員の挙手により承認された。

②令和8年度事業計画(案)・令和8年度歳入歳出予算(案)について

事務局から議題(3)令和8年度事業計画・(4)令和8年度歳入歳出予算(案)についての説明。議長から質疑及び意見を求めたところ、次の発言があつた。

○成田 齊委員 一般社団法人千葉県バス協会専務理事

3点質問で、今日冒頭から説明があってこの議題（4）の資料は差し替えだと了解しているが、議題（3）は裏面にあつて、郵送で送られたものになるが、これは変更なしで生きているということか。2点目は歳出の方で運営費の中に1万2,000円でお茶代と記載があるが、他にもあると思うので、お茶だけではなく郵送費とか様々な経費があると思うので、ここはお茶代だけという限定した書き方になっているが、そこは含みを持たせた書きの方がいいと思うので。3点目は2月の会議でも出てた話で私も了解しているが、国の方の予算で採択があつたということで本当にありがたいことだと思いますが、この備考欄を見ますと、地域公共交通政策の体制強化に向けた組織立ち上げ支援ということで、説明の中では2月26日に完了をするという事業でこれからいろいろやっていくと思うが、本当に単年度でこうした組織支援が鋸南町の中に浸透するかというのが、非常に大変短い中でかなりの工夫とか、ご協力ご支援、それから周知みたいな活動が重要になってくると思いますけども、まだ採択されてこれからだというのが次の会議は令和9年の2月なんです。そういう意味で、今日の段階で、単年度だけでできるという部分をどのように捉えればいいのか、事務局の方で今お持ちの情報でお伺いできればありがたいと思います。

●事務局 平井

1点目の資料の差し替えにつきましては、議題（3）は特に変更がなくて、このまま生きております。2点目の歳出で、今日もお茶の方ご用意できてなくて大変申し訳ございませんが、備考欄でお茶代他というような書き方に訂正させていただいてもよろしいでしょうか。3点目ですが、現状想定しておりますスケジュールの方を少し説明させていただきます。どうしても予算の方は議会が絡みますので、議会で予算の方が議決しましたら、契約という形でこちらにつきましては現状では6月中を想定しております。国への申請については、国への提出物のフォーマットが決まっておりますので、まず1つ目として、データの分析をし、これが7月から10月にかけて、次に組織の立ち上げの準備として、契約後すぐに、取りかかりたいと思っております。その立ち上げた組織が出来次第になると思いますが、運営体制の構築、施策の検討等を8月から、実績報告が2月になりますので、そのギリギリの1月中までということで想定しております。あとはその他の項目として関係者との資金面の調整ということで、これは町の方との予算の話になると思いますが、それを10月から同じく1月までを想定しております。最後に事業の実績報告といたしまして、国の期限である2月中を現状としては考えてございます。

○成田 齊委員 一般社団法人千葉県バス協会専務理事

1つ目と2つ目は全部了解ですありがとうございます。それで地域公共交通政策の体制の強化という部分について組織の立ち上げを8月、契約をすぐにとということで、7月というあと2ヶ月ぐらいですので、関係者に対する調整を契約後ですと間に合えばいいのですが、必要に応じて書面等のお知らせでも結構ですので、途中ですとなかなか議論もあるでしょうけど、方向が決まりましたら次の会議はもう2月ですので、いろいろな情報については協議会委員の方にもお知らせいただくとありがたい。それから関係者への資金面の調整も入るということで、バス事業者とかですね、団体等にこうした

資金面の調整があるのであればそうした立ち上げの際にもご調整いただくのが重要か
と思いますので、どうぞご検討のほどよろしく申し上げます。私からは以上でございま
す。

○内田議長 鋸南町副町長

貴重なご意見ありがとうございます。参考にさせていただいてですね、なるべく早め
な対応でやっていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいた
します。令和8年度は一応事業計画で2回の活性化協議会となっておりますが、また組
織の立ち上げ等も含めてですが、もしまた進捗状況等で、臨時で会議をお願いすること
もあるかもしれませんし、あるいは書面でお知らせ願いたいという成田委員からのご発
言もありましたので、どういう対応になるかわかりませんが、進捗状況によって、柔軟
に会議等の開催等については、検討させていただきたいと思います。確認ですが補助金
をもらって組織を立ち上げするという事業については今年度限りの事業ということで
よいか。その組織がずっと単年度の活動でなくともし年度を越えて複数年関わっていく
ってようなときには、特段その国からの支援というようなことは想定できないとい
うかそういう制度的にあるのかないかわかりませんが、もしその辺が今の時点でわか
るようでしたら、説明をお願いしたいと思います。

●事務局 平井

現状私の手元にある資料が、応募のときの資料で、今後どうなるかというのは確認さ
せていただきたいと思います。

○鈴木辰也委員 鋸南町商工会

時間がない中でこの補助金の申請をしていただいて補助金が採択されたっていうの
は本当にありがたいし職員の皆さんに敬意を表するところですが、中で先ほどの説明で、
6月中に契約をするという説明だったのですが、この契約というのはどういう契約ですか。

●吉田総務企画課長

事務局も兼務でやっておりますので、1人ではなかなか対応が難しいということで、
事業者の方に委託をかけて、その中でこの業務を進めていきたいと考えております。

○鈴木辰也委員 鋸南町商工会

6月中に契約ということになると、どのような形で募集をするのか、プロポー
ザルなのかそういったところについて町はどのように考えているのか。

●吉田総務企画課長

事務局といたしましては、基本的にはプロポーザルというよりは、今回公共交通計画
を作っていただいた委託業者に、いろいろ今までやっていただいて、データ等も蓄積し
ておりますので、そちらの事業者をお願いしたいというような考えを今のところもって
おります。

○鈴木辰也委員 鋸南町商工会

そういう考え方もあるかもしれませんが、個人的に思うのは、やはりそういうデータは町に帰属するわけですよ。そのデータに関しては次の事業者がどういう事業者であれ、そのデータを使って、また計画を進めていけるというふうに理解はしている。1年経ち、またいろいろな考え方のある事業者もあるかもしれない。1年前は計画策定でプロポーザルをして5社から決定をしたということですけども、また新たに募集すれば、違う考え方も、それがあらかどうかわかりませんが、やはりこれだけのお金をつぎ込んでやるわけですから、できるだけ多くの意見をいただいた中で、町は選定した方がいいと思いますが、その点についてはいかがですか。

●吉田総務企画課長

ご意見ありがとうございます。確かに競争性があるってまたいろいろな意見が出てくると思いますので内部で協議して、どのような選定方法がいいか考えたいと思いますが、この補助金については何分にも2月末に実績報告という決まりがありますので、それに合わせて終わらなければならないという部分もございますので、その辺も考慮しながら事業者について選定してまいりたいと考えている次第でございます。

○鈴木辰也委員 鋸南町商工会

町の立場からすればそういうふうに思うかもしれないが、やはり終わりありきではなく、いかに良いものを作っていくかという考え方から、私は取り組んでいってほしいし、取り組むべきだと思います。そこのところはしっかりと、もう一度再検討していただきたいということと、もう1点、組織を立ち上げるということで、今日この会議が終わると、基本的にはその組織の立ち上げというのは、誰が主導でいつ立ち上げるのか。予定では8月中から立ち上げるということですが、もうずっとこの会議で立ち上げて実行部隊としてある程度少人数で、これについてはこういう人たちでやっっていこうというような話も出ていたので、これはできるだけ早くそういう実行部隊という組織を立ち上げて、私はその人たちに動いていただいて契約をした事業者さんとも、連絡を密にして、やっっていくべきだと思います。この会議で今日決まらないと、次、一応予定では来年の2月、今会長の方から、状況に応じて会議を開催してということもありましたが、それこそ2月までの期間が限られているのであれば、今日の時点でどういう組織をいつまでに立ち上げるというような町の考え方がなければ、私は基本的に2月になってもただ計画だけで、じゃあどうしようかな組織でどう動かしていく。というのが、私はなかなか難しいのではないかと思いますけども、その点についてはいかがでしょうか。

●事務局 平井

別に配布しました補助金の資料の最終ページに事業実施体制という形で、簡単な略図が記載してありますが、地域公共交通活性化協議会が事業主体で、事業者の方に委託をして、共同でといいますか、新たな組織を立ち上げて体制支援だとかノウハウの提供を町公共交通担当者と公共交通に関わる交通事業者にしてもらうようなイメージで、組織のメンバーがどういった方々というのは、現状明確に決まっているわけではありませんが、事業背景目的のところ、行政や交通事業者だけではなく、地域や関係団体等多様

な人材を巻き込んだ組織の育成が必要不可欠となってきくるので、そういった方々にご協力いただいて組織の方を立ち上げるようなことを考えています。

○鈴木辰也委員 鋸南町商工会

これを見ると事業者と6月中に契約をして、データの分析を7月から10月までやってその後、組織を立ち上げて、10月ですともう4ヶ月しかないわけですね。それでその組織を立ち上げるまで、この事業がいいのか、その組織が立ち上がって、4ヶ月間で活動をして、ある程度の成果をどういうように、この地域公共交通をこのようにしたいというような計画を4ヶ月で実行部隊というか組織が出さなきゃいけないのか、本当にタイムリミットってそのタイムスケジュールが非常に難しいなと感じるが、事業者との契約もそれはそうかもしれないが、今この公共交通会議でこの1年間委員の皆さんに出していただいて、いろんな意見を出していただいているわけですから、まず事業者さんは事業者さんとして、データ分析をしていただいていると思います。それでもうこの中で実行部隊をこういう人をお願いしたらどうかということやって動き始めて、事業者さんも決まってデータ分析して、今度はそれぞれの立場から意見のすり合わせをしなければいいのではないかと思います。町は町のスケジュールで動かなきゃいけないというのはあるかもしれませんが、いかにこの地域公共交通を喫緊の課題であってどのように整備していこうというのが、非常に問題になっているわけですから、もう期限を決めて、いついつまでに誰が何をやるかっていうのは、早く決めて動いた方が私はいいと思いますけども、その点はいかがですか。

●吉田総務企画課長

計画策定時に確かに令和8年度は協議の期間になるということで調整等をお願いしたいということをお話しさせていただいたと思います。その辺も含めまして、委員さんの方からご意見もありました通り、そのような組織を立ち上げたらどうかというご意見もございましたので、今回事務局の方で、国の方に申請させていただいた次第でございます。鈴木委員さんの方からのご意見を参考にしながらですね、柔軟に事業を進めてまいりたいと思いますのでご指導の方、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

○菅井 規委員 国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官

まずこちらの人材育成の補助金使っていただいてありがとうございます。それで補助金としてはこれ単年度ということですけども、いわゆる組織というのはデータ分析とか、いわゆる計画とか、今後施策の検討で評価等を行っていくいわゆる計画の策定ガイドラインでいうところのマネジメントモニタリングチームのようなものかと思うんですけども確かにこれ組織の立ち上げの準備ということで今回補助金もらっているの、少なくともこれ計画期間中はあるのだろうなと思うんですけども、これ確かに補助金なので、データ分析等をその立ち上げというところで報告しなくてはいけないのかなと思うのですが、これは基本的にまだ実際鋸南町さんがどういう形で申請して概要に書いてありますが、どういう結果を出していくかっていうのがよくわからなくて、多分今年度はいわゆるデータ分析等やってそれで組織を立ち上げるっていうところまでかなと思うのですが、その後施策とかの検討、評価っていうのはこのチームの中で5年

かけてやっていくのだろうなと思うのですがそういうことでよろしいですか。

●事務局 平井

今回初めてのことで、この形で国へ応募させていただきました。現状としてはそういう考え方になるかなと思っております。

○菅井 規委員 国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官

ありがとうございます。非常に取り組みとしては該当ありそうでなかなか他の自治体でやってくれないが、計画の中で位置づけとか、何かこれに関係するような話って何か触れられていますか。必ずしも何か触れなくてはならないわけではないが、何か記載があるようであれば教えてください。

●吉田総務企画課長

計画の方には特に記載はなかったかと思います。ただ計画を作っていく中で、やはりこの今の協議会の中で議論をするのではなくて、実行部隊を作った方が良いのではないかという委員さんのご意見もございましたので、その辺を加味しまして今回応募させていただいた次第でございます。

○菅井 規委員 国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官

ありがとうございます。本当はできれば計画の中に記載があった方が、ベターだったと思いましたのでお聞きしました。

○成田 齊委員 一般社団法人千葉県バス協会専務理事

先ほど計画にはないということですが、策定経過の中で委員の中からも、やっぱり書くだけではなく実際にやる。そういうプロジェクトチームが必要だというご指摘もございまして、協議会の中でもそれは私も皆さんそれでうなずいていらっしやったので、この計画を策定する前提として、町の事務局+そのプロジェクトチームみたいな、こういう新しい組織が必要だという認識だったと思います。それで発言させていただくのは、2月の期限が近いということですが、やはり情報の出し方をもう5月29日までが交付申請の期限ですよ。それで既に申請中だっておっしゃったのでこうした総会ですから、今町が提出した申請書っていうのは国に提出したものがあつたわけですからそうしたものをまだ申請中だということを書いて一番関心があるのは、ただデータの分析だけでこんな600万とかそんなかかるのではなくて、例えばその組織の方々にお問い合わせとか、関係者の事業費の調整とか、どのように行かっている。ただ単に分析だけではない組織作りのためのどういう経費が予定されているのかというのが、その申請書の中にあると思いますけど、そうした申請書の写しでも、この総会の中でお示しいただければ、少しもう少し委員の中にも、短期間の中でどういうことを新しい組織作りには求められているのかというのが少しずつあると思いますので。今後の会議でも結構ですので、そして国に出した資料とか、そういう部分についてはご提示いただいて写しを議論の中に使っていただくと、より合意形成は進むのではないかと思いますので、発言させていただきました。別に回答は結構です。よろしく申し上げます。

○内田議長 鋸南町副町長

事務方の方も時間のない中でやって、詳細にどこまでイメージしているというところは統一的なことがないのかもしれない。今成田委員からありました、情報も事務局だけが全て整えて何かをするということではございませんので、もちろん委員の皆さんに、できるだけ情報は共有できるような形で今後もさせていただければと。その中でより良い形ということで、鈴木委員からもありましたが、今年度どこまで着地点とするっていうのが、少し具体的に検討が必要かなと思っております。それで補助金使った中でどこまでこの補助金の成果というものを国に報告できるのかということ、組織を立ち上げました。細かい実践部隊のものを出してそこで個別のことまで結論といいますか。そこまで出せるのか、それともするのかわかる今後の協議の仕方があると思いますし、委員の皆さんによってはもう早くに結論を出しても、ということもあるでしょうし、少しじっくり時間を要すること、財政といいますかお金の問題等もありますので、これはいかに継続的にやれる。そういう施策といいますか、ものになるのか、まだ事務局側も手探りなところがあると思いますので、それはまたいろいろな場面でご意見いただきましてよりよい形になるように、事務局の方にもお願いをしたいと思います。以上です。

○中村 基委員 鋸南町議会議員

鈴木商工会長、それから成田さんのおっしゃってることに関係しますが、私やっぱり進め方として、この1年間やってきた公共交通計画が、もう最初は本当反省なんじゃないんですかね。

この公共交通計画はできます。アウトプットはありますけれど、そこに至るまでいろいろな方がいろんな意見を出してきましたよね。進め方について、それについての反省っていうかそういうのがない中で、今度8年度の話になるでしょう。話を聞いてれば、チームそういう意見があったんでチームを作って、でもチームは別に、これから考えます。私違うと思います。全体の前回の進め方の反省は、まず全体構想が先なんじゃないですかってこと、私議会でも申し上げた。だって、家建てるのに設計図を書かないと玄関から作る人いないでしょ。だから全体構想これが5年間で実現するとして、どういう鋸南の中の交通の体系になってくるんですか。今ある既存の手段を使って、どういう流れ、どういうネットワーク、そしてその中ですぐできること、時間をかけてやっていくことでやっぱり普通やりますよね。最初に全体を描きますよね。令和8年度にやることじゃないでしょう。これ何回も私繰り返すんだけど、全体の構想を作らないでどうします。バスからやるんですか。デマンドからやるんですか。それとも停留所からやるんですかってそれおかしいと思います。

2つ目前回もそうだったが、国の期限に合わせたスケジュール作りっていうのを前回の中であったんだけど、何のためにやるんだって、住民の足を確保するんです。そうでしょう。だから、令和9年2月までに提出しなきゃいけない。補助金をもらったからって、だからこのスケジュールだっていうのを私にはよくわからないです。

3つ目が前回の反省の中で、コンサルさんとの関わり方ですよ。あんまり申し訳ないけど、行政の姿が私は見えてなかったですよ。という、やっぱりそういう反省があって今回、令和8年度の進め方はどうするかってことをしっかり考えてそういう準備をした上で、望むじゃないのかなって思うんですけどね。これがまず前回の進め方の反省

が必要なんじゃないかってことが1つ。

2つ目チームを作るってこれは素晴らしいと思うんですね。多分これ国もそういうことを推奨してるんですきっとね。まさにその通りだと思います。だからこのチームを作るというのは、今行政だけでやるってなかなか人数も少ないわけですから、いろんな部分で無理がある。これは公共交通に限らず、だからここに民間の力だったり、有識者を入れたりするのは、これは正解だと思うし、だから、仕事のやり方を全く変えなきゃいけないっていうそういう発想がきちとないといけないと思うんです。だから仕事のやり方をガラッと変えるぐらいの気持ちでないと、何人か入れてチーム作ってやってみます。でも実際にやるのはコンサルですってそんなんじゃというふうに思っていないかもしれないけど前回1年間の流れを見ればそうなるんじゃないでしょうかってことです。だからチームが機動的に動いて、そこのチームで立案して、その中にコンサルが入ってもらって、つまりチームの一員としてのコンサルであるとそういう仕事の仕方に変えていかなければ私はできていけないと思います。コンサルが作った計画に具体策があると思いますよ。だから、あれじゃないんですか。やっぱり甘いやと思いますだから、このプロジェクトチームを作るっていうのは、是非ですね関係者に入れていただいて相談させていただきたいっていう私のお願いなんですけど、チームができて、そこでもう水面下でどんどんどんどん動いて、法定協に審議をかけるとすぐできることは、もうチームの中でどんどん実現していく。そのぐらいの権限持たせるとか、そういうふうに仕事の仕方を変えていかなければ2月のときに案を発表してあるっていうか第2回の法定協でこんな感じでやりませうってそんな形はできるかもしれないけど住民が望んでるものにならないんじゃないですか。

それから3つ目なんですけど、今言ったのは、前回の進め方の反省を踏まえた中での仕方が本来必要であるということ。2つ目は、プロジェクトチームをつくる時には是非民間・議員加えた中で相談させていただきたいと思う。

3つ目コンサルを選ぶのは、プロポーザルでこの中に入れてもらいたいです。だって実行するのはチームですからチームの中にコンサルが入るっていうこと。自分の中ではそんなイメージなんでコンサルにお願いしてやってくださいと報告してください。いやそうじゃないよねって、ワークショップもコンサルがやるんじゃなくて、行政がやらなきゃだからそういう主体性を持った仕事の仕方に変えないと、新しいものとか、実際町民を説得するとかっていうことできないですよ。私はそういうふうに強く思います。この3つを私は是非提案します。以上です。

●吉田総務企画課長

町が全体像につきましてはこの計画が5年後に向けての計画全体像というように町の方では認識しておりますので、これの実現に向けて努力していくというのが町の責務この協議会の責務だと思っております。また議員さんの方からですね、チームのあり方、委託業者のあり方についてはご提案いただきましたが、その辺につきましては内部で協議して考えていきたいと考えております。

○平野 幸男委員 鋸南町社会福祉協議会

予算案について、確認したいのですが歳出の1の運営費は、これ2段書きになってますが、これは補助対象と対象外か何かで分けていますか。説明聞き逃してたら申し訳ないのですが。備考欄の返還金の1,142万4,400円と先ほど決算のところでは不要な繰越金とそれから次年度、未収になっていた補助金等々ってということなんですけど、何か内訳を確認させてください。そもそこの国庫補助金は、特にその概算交付という制度がないんですかね。はい。わかりました。では返還金の内容と仕様について教えていただければと思います。

●事務局 平井

予算の内訳についてですが、すいませんこちらに記述ができてなくて大変申し訳ないのですが、運営費の中で、会議費と事務費という形で分けてございまして、上の段が会議費2段目の段が事務費という形に成ってございます。

●吉田総務企画課長

来年以降はですね、項目を会議費、運営費って分けて記載させていただきたいと思えます。すいません申し訳ありませんでした。

●事務局 平井

1,142万4,400円の内訳ですが、1つ目323万6000円こちらが令和7年度の公共交通計画の策定分の国費で、こちらの額を町に返還する分、2つ目155万1,000円は、公共交通計画策定プロポーザル時の差金で、当初予算として1,582万9,000円を見込んでおりましたが、決算額で1,427万8,000円でしたのでその差額。3つ目、663万7,400円につきましては、現状令和8年度のモビリティ人材組織育成タイプ分の国費の上限額でございます。こちらの3つを内訳として、1,142万4,400円の数値を計上させていただいております。

○平野 幸男委員 鋸南町社会福祉協議会

最後の令和8年度分の国費の663万7,400円について詳しく説明いただけますか。

●事務局 平井

事業費全体といたしまして、948万2,000円を想定しており、現状この948万2,000円に対して国の方から採択されている上限額が663万7,400円となっております。

○平野 幸男委員 鋸南町社会福祉協議会

はいそうすると、歳入の方の補助金の987万3400円というのは今年の分の上限額と、7年度分の未収の分が足されてるってことですかね。わかりましたありがとうございます。

議長から議題（３）令和８年度事業計画（案）、議題（４）令和８年度歳入歳出予算（案）について承認することとしてよろしいか委員に諮られ、委員全員の挙手により承認され（案）が削除された。

③その他

事務局から議題（５）その他 令和８年度の交通空白解消等リデザイン全面展開プロジェクトのモビリティ人材組織育成タイプについての説明。議長から質疑及び意見を求めたところ、次の発言があった。

○鈴木辰也委員 鋸南町商工会

補助金の方は補助金の方でしっかりと進めていただきたいということと、それと同時に先ほど来出ている実行部隊の立ち上げとか、できることはできる限り、先行して、どんどん進めていっていただきたいなと思いますので、大変かもしれないですが、よろしくお願ひしたいと思います。

○石井敬太氏（代理） 高橋晴樹委員 日東交通株式会社運輸部長

日東交通 高橋の代理で参りました石井と申します。よろしくお願ひいたします。

貴重なお時間ありがとうございます。弊社からは会長から冒頭にお話いただきました、５月１６日から運行スタートしております。アクシー号の鴨川東京線の、道の駅保田小学校経由東京行について現状のご報告をさせていただきます。

まず５月１６日に道の駅保田小学校の方でセレモニーを開催していただきまして誠にありがとうございます。おかげさまで無事にスタートすることができております。

５月２４日までの弊社の分にはなりますが、実績の報告をいたします。長狭街道含めて新しいバス停が立っておりますけれども、道の駅保田小含めて、利用者の方、１便当たり１から２名様となっております。運行開始したばかりで、まだ浸透しきっていないと思いますので、利用者増に関しては今後いろいろ実行していきたいと考えております。

毎日のチェックがまだできていないのですが、保田小学校への乗り入れの時の渋滞に関してのご報告させていただきます。まず５月１６日の下りの便で１４時保田小学校到着予定の便でしたが、こちら鋸南保田インター降りて出口を出て、そこからバス停に入るまでの間、大体８分程度渋滞がありました。道の駅保田小学校へのお客様が大量来ていらっしゃるの、それはいいことかと思いますが、バスの運行の方が８分程度バス停に着けるまでに遅れが出てきたということで報告を受けております。こちら夏休みとか、さらに自家用車でのお客が増えてくると思いますので、できるだけ定時定路線としたと考えておりますので、何かしら鋸南町様の方で対策等々を講じていただけると非常に助かるところでございます。以上でございます。

議長は、全議題の審議を終了した旨宣言した。

（４）閉会

事務局より閉会が宣言された。